

南部町人権啓発標語が決まりました

町では、人権啓発として標語の募集を7月から9月にかけて行いました。ご応募ありがとうございました。その結果小学生の部286点、中学生の部372点、大人の部31点の応募があり、次のとおり選定いたしました。

最優秀賞

○小学生の部

『いなくていい』なんて

あるはずがない

一人欠けてもだめだから

西伯小 6年 藤田 美幸さん

『あなたのねやさしい心で

ホッとする』

会見小 6年 西村あずささん

○中学生の部

『見ぬふりをしてる自分も

共犯者』

法勝寺中 3年 船越 聖貴さん

『わるくちをいわないみとめない

注意する』

南部中 1年 手島 奈緒さん

○大人の部

『バリアフリー

まずは自分の心から』

横山 繁一さん

優秀賞

○小学生の部

『助け合い 絆を深める 第一歩』

西伯小 6年 足立 歌穂さん

『気にかけてくれる言葉に

勇気出る』

西伯小 6年 木村 隼也さん

『友達の SOS に 気づいてる?』

会見小 6年 吉田 優紀さん

『そうじしよ 悪い心を

きれいにね』

会見二小 6年 安達 大樹さん

○中学生の部

『1人じゃない誰かが

あなたを支えている』

法勝寺中 3年 糸田 理沙さん

『消し去ろう差別や偏見

この世から』

法勝寺中 2年 佐々木郁雄さん

『なくそうよ自分の町から

悪口を』

南部中 1年 三嶋 豪志さん

『差別する心はどこから

生まれたの』

南部中 1年 吉持 伽奈さん

○大人の部

『差別ゼロみんなの幸せ

みんなの願い』

大西 淑子さん

『見ぬふり』をしないさせない

僕らの未来』

吉村 淳一さん

南部町人権セミナー

一人ひとりの人権を尊重するまちづくりをめざして、各人権問題をテーマに人権セミナーを開催しました。



第5回セミナーの様子

第1回目は7月21日に椋田昇一さんによる同和問題「県内の差別事象と今後の課題」、第2回目は、8月26日に吉野立さんによる高齢者の人権「ぼけても心は生きています」、第3回目は9月27日に新井芳枝さんによる子どもの人権「気づき、発見、子どもから」、第4回は10月15日に宮倉玲子さんによる障がい者の人権「人間ってふしぎ人間ってすてき」、第5回目は11月14日に山田晋さんによる女性の人権「男女共同参画社会をめざして」、延べ326人の方が参加されました。

参加者からは「気づかない差別ということを考えさせられた」「大人の人権感覚が問われている」など、たくさん感想がアンケートで寄せられていました。